
Marine Snow

葉月羽音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Marine Snow

【コード】

N8010T

【作者名】

葉月羽音

【あらすじ】

愛した人が亡くなった。失ったものはその人への想いと、生きる理由。

現実の重さは独りでは苦しくて。だけど、彼の死を受け入れられるほど、強くはなくて。

現実で生きるということ。失った愛という名の鎖。新たに生まれる恋の蕾。

一人の少女とその少女を想う少年の切ないラブストーリー！。

深海魚が見た夢の痕

君がないという真実が苦しくて

貴方が愛しいという事実が痛くて

全てを捨ててしまいたいと思うのに捨てられなくて

全てを忘れてしまいたいと思うのに忘れられなくて

ただ、ただ、君だけを求めて溺れてる

ただ、ただ、貴方だけを想い泳いでる

逃れられない思い出という名の鎖は、私が君を忘れない証

伝えられない愛という名の想いは、僕が貴方を慕っている証

だけど、私はいつか、君を忘れてしまうのよ

だけど、僕はいつか、貴方に伝えてしまうんだ

時の無常さに流されて、君を忘れてしまうのよ

時の弱さに流されて、貴方に伝えてしまうんだ

許してとは言わないわ

(赦してとは言わないよ)

ただ、君を想う私を深海に沈めることを、赦して

(ただ、貴方を想う僕を深海に放つことを、許して)

Prologue 深海に沈む君に逢いたくて、深海魚になる夢を見る

ユラリ、ゆらりと揺れる海の中に少女は沈む。仰向けになって、ゆつくりと落ちていくのだ。

コポコポと上に向かって昇る気泡は壊れることなく静かに見えなくなっていく。

溺れているのだろうか？そんな風に考えて少女は笑った。

（このまま溺れるのならそれでもいい。そのまま深海で朽ち果てる
ことが出来れば、幸せになれるはずだから。）

本気でそう思っているのだろう。ゆるゆると閉ざされた瞼は安からで、唇にすら笑みが浮かんでいて。

けれど、それはすぐに歪んでしまう。少女の脳裏の浮かんだ一人の少年の悲しげな笑みが、その穏やかな微笑みを、死を受け入れてしまったもの特有の笑みをかき消したのだ。

少女は思う。こんな風に死にたいと思っている人間を受け入れるほど、自ら命を捨てるような愚か者を受け入れるほど、神様は優しくないのだと。

また、こんな風に自虐的になった自分を見て彼は泣きながらなन्दを繰り返すのだろう。

そうさせてしまった原因である自分を責めながら、少女を中途半端に責めては抱きしめて。

しかし少女はその腕がほしいのではない。責めてほしいわけでもない。

また、泣いてほしいわけでもないのだ。ただ、笑って迎え入れてほしい。

久しぶり、と何気ない笑みを浮かべながら抱きしめて欲しい。ただ、それだけを願っている。

だからこそ、ここで死ぬことは出来ない。朽ち果てるのは簡単だが、死ぬのは難しいのだ。

どんなに覚悟を持ち合わせていても、いつだって最後に恐れて逃れようとする。

少女とて同じだ。どんなに言葉を繕っても、結局は死を恐れている。そしてそれに気付いていながら見て見ぬ振りをするのは心の弱さ故か。

沈む体を浮き上がらせるために瞼を開き、両手を使って上へ上へと泳いでいく。

そうすることで死の恐怖を改めて感じ、心も体もそれから逃れようともがいては息苦しさをようやく覚えるのだ。

しかし、ある一定の場所で少女はそれ以上上へと上昇することはなくなってしまう。

焦りは深まり、何度ももがいては息を求めて口を開いてしまう。

一気に迫り来る海水。しかし塩辛い味は一向にせず、ただただ苦しさをだけ与えながら沈ませようとしている。

少女は咽ながらもそれにも抗って。そこで気付くのだ。足に何か絡んでいると。

視線をそちらへと向ければ眼には何も映らない。

足をまげて手を伸ばして足首に触ればなにか、硬いものが巻きついていて感触はある。

例えるならば鎖の付いた枷のような、そんな鉄の固まりが、だ。

しかし、眼に映らないものを外す術はなく、ただただ海の中をゆっくりと沈みながら海が少女を汚染していく。

這い上がる気力も、体力も奪われて。少女はなすすべなくゆるゆると瞼を閉じた。

そして、そのまま……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8010t/>

Marine Snow

2011年10月9日04時31分発行